

## 福島県農業総合センター令和4年度研究成果発表会 開催要領

農業総合センターでは、毎年3月に研究成果発表会を開催し、研究成果等の現場への普及に取り組んでおります。

今回は、令和4年度に得られた各分野の最新研究成果を中心に、近年の研究成果について、会場及びオンラインにより研究成果発表会を開催します。

- 1 主催 福島県農業総合センター
- 2 内容 (1) 研究成果の発表  
(2) 研究成果のポスター展示

### 3 開催日時、場所、定員

地域・分野	日時	定員	会場
本部 (作物、園芸)	令和5年3月 2日(木) 13時～16時	70	福島県農業総合センター 多目的ホール (郡山市日和田町高倉字下中道116番地)
果樹	令和5年3月 7日(火) 10時30分～15時	70	J A福島ビル 1001会議室 (福島市飯坂町平野字三枚長1-1)
畜産	令和5年3月 8日(水) 13時～15時30分	50	福島県農業総合センター 大会議室 (郡山市日和田町高倉字下中道116番地)
会津	令和5年3月 9日(木) 13時30分～15時	20	福島県農業総合センター会津地域研究所 研修室 (会津坂下町見明字南原881)
浜通り	令和5年3月14日(火) 10時～15時30分	40	linkる大熊 多目的ホール (大熊町大川原字南平1207-1)

※発表内容の詳細は、別紙1～5を御確認ください。



福島県かんたん申請・申込システム

- 4 参加申込方法 事前申込制(先着順)となります。
  - (1) 会場参加(各会場の会場定員まで)
    - ア「福島県かんたん申請・申込システム」による。
    - イ「参加申込書(様式1)」を、FAX又はメールで農業総合センター企画技術科へ送信ください。
  - (2) オンライン参加(Zoom配信。前日までにURLをメールでお知らせします。)
    - ア「福島県かんたん申請・申込システム」による。
- 5 新型コロナウイルス感染症対策
  - (1) 会場内では、マスクの着用をお願いします。
  - (2) 熱や咳、倦怠感があるなど体調のすぐれない方は、参加を御遠慮願います。
  - (3) 今後の感染状況によっては、会場開催を中止する場合があります。

お申込みに係る問い合わせ先

福島県農業総合センター企画技術科 Tel024-958-1700

本 部 (稲作、野菜、共通に関する成果の発表)	
日 時	令和 5 年 3 月 2 日(木) 13 時～16 時
場 所	福島県農業総合センター多目的ホール 〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地
内 容	<p>I 園芸栽培に関する成果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アスパラガスに含まれる機能性成分等の加熱・一次加工後の含有量の変化</li> <li>2 夏秋トマト栽培終了後の低温期における土壌くん蒸消毒の効果</li> <li>3 トマトかいよう病は越冬した残さや汚染資材から伝染する</li> <li>4 タマネギ秋まき直播栽培におけるペンディメタリン乳剤を用いた雑草防除体系</li> </ol> <p>13:00 ~ 16:00</p> <p>II 水稲栽培に関する成果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 水稲の根出し種子での無コーティング直播栽培の適応性</li> <li>2 高密度播種苗栽培では側条施肥によって初期生育を確保できる</li> <li>3 秋耕と中干し延長による水田からのメタンガス削減効果</li> <li>4 カリ施用をせず稲わらを持ち出しで栽培を継続すると、玄米中放射性セシウム濃度が高まる</li> <li>5 水田におけるカリ上乘せ施用終了後の交換性カリ含量の推移</li> </ol> <p>III 品目共通成果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小型トラクタで利用できる浅層暗渠施工器を開発した</li> <li>2 G A P 認証によりリスクや農作業安全に対する意識が高まる</li> </ol>
終 日	成果に関するポスター展示
問い合わせ	農業総合センター企画技術科 Tel 024-958-1700

果 樹 (果樹に関する成果の発表)	
日 時	令和 5 年 3 月 7 日(火) 10 時 30 分～15 時
場 所	J A 福島ビル 10 階 1001 会議室 〒960-0231 福島市飯坂町平野字三枚長 1 番地 1
内 容	
10:40 ～ 11:50	1 ニホンナシに関する研究成果 (1)カブリダニ類に影響の小さい防除体系を導入することでハダニ類の密度を抑制できる (2) ナシ黒星病に関する成果 ア ナシ黒星病の秋期防除適期は 10 月上旬～11 月上旬頃であり、「幸水」収穫後の防除を削減できる イ 梅雨期にナシ黒星病の果実感染を防ぐ効果が高い薬剤 (3) ジョイント V 字樹形によるナシ「王秋」「甘太」の早期成園化 (4) CI 値はナシのシャリ感を評価する目安となる
13:00 ～ 14:00	2 モモに関する研究成果 (1) モモせん孔細菌病に関する成果 ア モモせん孔細菌病の罹病落葉は感染拡大に影響しない イ モモせん孔細菌病の春型枝病斑からは長期間にわたって病原細菌が漏出する ウ マンゼブ水和剤(商品名:ペンコゼブ水和剤)はモモせん孔細菌病の防除に有効である (2) モモせん孔細菌病の新梢接種試験により病斑拡大程度が小さい育種実生個体を確認した (3) アセタミプリド水溶剤及びスピネトラム水和剤はモモハモグリガの被害抑制に有効である (4) 台木の違いによる県オリジナルモモ品種「はつひめ」(5年生)の生育
14:00 ～ 14:30	3 リンゴに関する研究成果 (1) 摘花・摘果剤を利用することでリンゴ「ふじ」の摘果作業を省力化できる (2) ひょう害を受けたリンゴ果実の収穫時の傷の形状
14:30 ～ 14:45	4 晩霜害対策に関する研究成果 ロックウールを芯材とすることで燃焼時間を長くすることができる
終 日	成果に関するポスター展示
問い合わせ	農業総合センター果樹研究所 Tel 024-542-4951

畜 産 (畜産に関する成果の発表)	
日 時	令和 5 年 3 月 8 日(水) 13 時～15 時 30 分
場 所	福島県農業総合センター大会議室 〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地
内 容	
13:00 ～ 15:30	I 令和 4 年度の主な試験研究成果発表 1 参考成果 (1) 福島県独自に肉用牛のゲノミック評価ができる(動物工学科) (2) 安価な綿棒で採材した鼻腔内試料でもゲノミック評価が可能(動物工学科) (3) 酒粕を給与した和牛は食味の評価が高まる(肉畜科) 2 放射線関連支援技術情報 (1) 搾乳牛におけるトールフェスクとオーチャードグラスの採食性は同等である(飼料環境科) (2) 特定復興拠点での飼料作物の栽培実証(飼料環境科)
	II 話題提供 (1) 子実用トウモロコシに関する試験研究について (2) 福島県の和牛改良と振興に向けた試験研究の取組
終 日	成果に関するポスター展示
問い合わせ	農業総合センター畜産研究所 Tel 024-593-1221

会 津 (会津地域の農業に関する成果の発表)	
日 時	令和 5 年 3 月 9 日(木) 13時30分～15時
場 所	福島県農業総合センター会津地域研究所 研修室 〒969-6506 会津坂下町見明字南原 881
内 容	
13:30 ～ 15:00	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水稻の根出し種子での無コーティング直播栽培の適応性</li> <li>2 冬キャベツ簡易雪室貯蔵と貯蔵中の GABA の変動</li> <li>3 夏秋トマト栽培終了後の低温期における土壌くん蒸消毒の効果</li> <li>4 電動小型除草機によるオタネニンジン栽培での除草作業の省力化</li> <li>5 会津でのソバによる遊休農地再生利用の優良事例</li> <li>6 耐雪性を高めた複数獣種防除柵</li> </ol>
終 日	成果に関するポスター展示
問い合わせ	農業総合センター会津地域研究所 Tel 0242-82-4411

浜 通 り (浜通り地域の農業、営農再開に関する成果の発表)	
日 時	令和5年3月14日(火) 10時～15時30分
場 所	l i n kる大熊 多目的ホール 〒979-1306 大熊町大川原字南平 1207-1
内 容	<p>I 農林水産分野の先端技術展開事業の取組みについて</p> <p>(1) 見える化技術を活用した土壌肥沃度のばらつき改善技術の開発</p> <p>(2) 特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証 (トラクタ搭載型放射能測定ロボット(KURAMA-X)について)</p> <p>(3) 乾田直播による水稲作期拡大に向けた品種の検討・実証</p> <p>(4) 雇用労力による栽培管理を想定した施設キュウリの平易な栽培法の開発</p> <p>II 令和4年度の試験研究成果</p> <p>1 水稲関係</p> <p>(1) 乾田直播栽培に適した肥効調節型肥料の検討</p> <p>(2) 箱施用剤によるイネ紋枯病の防除効果の検討</p> <p>(3) メタン発酵消化液による水稲への放射性セシウムの吸収抑制について</p> <p>(4) 除染後農地における土壌養分の実態について</p> <p>2 畑作園芸関係</p> <p>(1) 大豆の早播における播種時期の検討</p> <p>(2) 水田転換畑での心土破碎による排水性改善について</p> <p>(3) 水稲育苗ハウスの未利用期間を有効活用した簡易養液栽培システムによるパプリカ栽培</p> <p>(4) 夏播き緑肥作物によるタマネギの増収効果について</p> <p>(5) カンパニュラの摘心栽培</p> <p>(6) グリホサートカリウム塩液剤に抵抗性があるオヒシバについて</p> <p>3 畜産関係</p> <p>(1) 緑肥作物および堆肥施用による飼料用トウモロコシ収量の確保について</p> <p>4 鳥獣害対策関係</p> <p>(1) 鳥獣害被害実態および電気柵設置条件の調査結果について</p>
10:00 ～ 15:30	
終 日	成果に関するポスター展示
問い合わせ	農業総合センター浜地域研究所      Tel 0244-35-2633 農業総合センター浜地域農業再生研究センター      Tel 0244-26-9562